

『肺がん患者サロン』がスタートしました。

患者会の要望を受けて、鹿児島県で初めて肺がんの特化した患者サロンを、いまきいれ総合病院で開催することになりました。当院の患者さんに関わらず、患者さん、ご家族の方の参加可能です。患者スタッフを紹介いたします。



★松下真一さん：肺がん患者会代表★

こんにちは。

5月30日にいまきいれ総合病院の会議室をお借りして、

鹿児島で初の肺がんサロンを計画しています

鹿児島肺がん患者会の松下真一と申します。

私自身も肺がんサバイバーとして15年ほど肺がんと共生しております。

今回、男女を問わず・肺がんの患者さんやその家族と肺がんや生活の事をおしゃべりできるサロンという空間を作りたいという私の趣旨をいまきいれ総合病院の方々が受け入れて下さり、今回の開催にこぎつけたこと本当に感謝しています。

全国にある肺がん患者会の仲間からも南九州で初めてのサロンの行方に注目を頂いています。今回の一歩が肺がんに関わる方々に少しでも良いアクションになりますように私自身も努力していきます。これからもよろしくお願いします。

大切にしていること：肺がん患者として「自分で決断する」こと
一個人として「家族」

好きなこと：家の掃除

ひとこと：「どうにもならないことは忘れて良い」

